

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月5日

上場会社名 古河電池株式会社

上場取引所 東

コード番号 6937 URL <http://www.furukawadenchi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 内海 勝彦

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 小林 和男

TEL 045-336-5034

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	28,228	△23.1	2,251	△25.3	2,210	△21.0	1,270	△28.3
21年3月期第3四半期	36,717	—	3,011	—	2,797	—	1,772	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	38.76	—
21年3月期第3四半期	54.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	34,901	7,278	19.6	208.48
21年3月期	31,687	5,475	17.0	164.64

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 6,835百万円 21年3月期 5,397百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	5.00	5.00
22年3月期	—	—	—		
22年3月期(予想)				5.00	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	△14.7	2,700	△29.1	2,600	△26.6	1,500	△34.7	45.73

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
新規 1社 (社名 HDホールディングス株式会社) 除外 1社 (社名)
(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
① 会計基準等の改正に伴う変更 無
② ①以外の変更 無
(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年3月期第3四半期 | 32,800,000株 | 21年3月期 | 32,800,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年3月期第3四半期 | 13,470株 | 21年3月期 | 12,746株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第3四半期 | 32,786,636株 | 21年3月期第3四半期 | 32,788,734株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績の見通し等に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、アジア向けを中心とした輸出の増加、工業生産の持ち直しなど一部に底打ち感が見られました。しかし、円高や株価の下落、デフレの進行といった状況は企業業績の先行きに不透明感を与えることとなり、設備投資は下げ止まりを見せず、雇用情勢や個人消費は低調なまま推移するなど景気は依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中で、当グループの売上高は前年同四半期比8,489百万円（23.1%）減の28,228百万円となりました。このうち海外売上高は5,151百万円となり、売上高に占める割合は18.2%となりました。

損益面については、子会社の利益向上や修繕費等の経費圧縮に努めた結果、営業利益は2,251百万円、経常利益は2,210百万円となりました。

また、特別利益3百万円（貸倒引当金戻入）、特別損失69百万円を計上し、税金費用を考慮した結果、第3四半期純利益は1,270百万円となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

（蓄電池・電源）

鉛蓄電池の売上高は前年同四半期比8,734百万円（27.3%）減の23,203百万円となりました。特に、自動車用鉛蓄電池は、新車組付用電池が自動車メーカーの減産の影響を受けて大幅に減少し、また、海外売上高も大幅に売上減少となりました。

アルカリ蓄電池の売上高は前年同四半期比35百万円（1.6%）増の2,241百万円となりました。これは主に開放型電池の売上が増加したことによるものであります。

電源機器の売上高は前年同四半期比11百万円（0.5%）減の2,232百万円となりました。これは充電機器の売上が減少したことによるものであります。

（その他）

その他の売上高は、前年同四半期比267百万円（81.3%）増の596百万円となりました。

なお、当グループにおいては、得意先の需要が下期に偏重するという事業の性質上、生産、販売等において季節的変動が生じております。

所在地別セグメントの業績は次のとおりであります。

（日本）

売上高は23,722百万円、営業利益は1,754百万円となりました。

（アジア）

売上高は4,635百万円、営業利益は483百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は、前連結会計年度末（以下「前期末」という）に比べて3,213百万円増加し34,901百万円となりました。流動資産は、前期末比125百万円増加し17,310百万円、固定資産は、前期末比3,087百万円増加の17,590百万円となりました。

流動資産増加の主な要因は、売掛債権の増加によるものであります。

固定資産のうち、有形固定資産は前期末比3,301百万円増加の13,840百万円となりました。この増加の主な要因は、持分法適用関連会社を連結子会社化したことによるものです。

投資その他の資産は、前期末比204百万円減少し3,550百万円となりました。

当第3四半期末の負債の合計は、前期末比1,411百万円増加の27,622百万円となりました。流動負債は、前期末比1,246百万円減少の15,942百万円、固定負債は、前期末比2,657百万円増加の11,680百万円となっております。有利子負債（短期借入金、長期借入金および社債の合計額）は、前期末比37百万円増加の10,685百万円となりました。

当第3四半期末の自己資本は、前期末比1,437百万円増加して、6,835百万円となりました。

なお、自己資本比率は、前期末の17.0%から19.6%となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期における業績につきましては、下記のとおり修正を行っております。

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	35,500	1,800	1,600	1,000	30.50
今回発表予想(B)	40,000	2,700	2,600	1,500	45.73
増減額(B-A)	4,500	900	1,000	500	—
増減率(%)	12.7	50.0	62.5	50.0	—
前期実績	46,900	3,810	3,542	2,296	70.05

売上高は、鉛価格の高騰による価格改定や、自動車用電池の補修向けが好調に推移した結果、前回発表を上回る見込みです。

利益につきましては、売上高の増加に加えて、特に子会社の利益向上が著しく寄与し、営業利益、経常利益、当期純利益それぞれ前回発表予想を上回る見込みです。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

当グループにおいて不動産事業による安定的な収益確保の目的で、平成21年4月に当社の持分法適用関連会社であるHDホールディングス株式会社の株式を追加取得し、連結子会社としました。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

・四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,616	2,829
受取手形及び売掛金	9,990	9,792
商品及び製品	1,458	1,403
仕掛品	1,768	2,019
原材料及び貯蔵品	515	469
繰延税金資産	221	296
その他	808	423
貸倒引当金	△68	△50
流動資産合計	17,310	17,184
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,644	3,162
機械装置及び運搬具(純額)	3,493	3,790
機械、運搬具及び工具器具備品(純額)	376	479
土地	5,862	2,878
リース資産(純額)	116	65
建設仮勘定	347	163
有形固定資産合計	13,840	10,539
無形固定資産		
のれん	95	117
リース資産	56	44
その他	47	45
無形固定資産合計	199	207
投資その他の資産		
投資有価証券	1,472	1,594
繰延税金資産	1,906	1,990
その他	296	244
貸倒引当金	△123	△74
投資その他の資産合計	3,550	3,755
固定資産合計	17,590	14,503
資産合計	34,901	31,687

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,593	6,606
短期借入金	5,035	5,772
1年内償還予定の社債	1,180	1,240
リース債務	49	29
未払法人税等	198	1,270
未払消費税等	120	344
賞与引当金	161	460
その他	1,604	1,464
流動負債合計	15,942	17,188
固定負債		
社債	3,520	2,460
長期借入金	950	1,175
リース債務	133	87
繰延税金負債	1,058	0
退職給付引当金	4,999	5,173
役員退職慰労引当金	91	88
環境対策引当金	18	18
負ののれん	469	—
その他	439	20
固定負債合計	11,680	9,022
負債合計	27,622	26,211
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,640	1,640
資本剰余金	422	422
利益剰余金	4,486	3,379
自己株式	△5	△4
株主資本合計	6,543	5,437
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	349	216
繰延ヘッジ損益	113	△55
為替換算調整勘定	△170	△200
評価・換算差額等合計	291	△39
少数株主持分	442	78
純資産合計	7,278	5,475
負債純資産合計	34,901	31,687

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	36,717	28,228
売上原価	27,464	20,482
売上総利益	9,252	7,746
販売費及び一般管理費	6,241	5,494
営業利益	3,011	2,251
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	21	34
有価証券売却益	0	—
負ののれん償却額	—	48
持分法による投資利益	28	—
為替差益	—	8
受取保険金	—	19
その他	97	60
営業外収益合計	149	173
営業外費用		
支払利息	267	163
社債発行費	—	31
為替差損	57	—
その他	38	19
営業外費用合計	363	213
経常利益	2,797	2,210
特別利益		
投資有価証券売却益	—	0
貸倒引当金戻入額	4	3
特別利益合計	4	3
特別損失		
減損損失	—	41
固定資産処分損	23	26
投資有価証券評価損	33	1
投資有価証券売却損	—	0
ゴルフ会員権評価損	3	—
特別損失合計	61	69
税金等調整前四半期純利益	2,741	2,144
法人税等	943	840
少数株主利益	24	33
四半期純利益	1,772	1,270

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。